

福岡市政記者 各位

ヤンゴン市ごみ埋立場の「福岡方式(準好気性埋立構造)」による整備について

福岡市では、姉妹都市であるミャンマー国・ヤンゴン市において、ごみ埋立場で生じるメタンガス（可燃性ガス）の発生を抑制するごみ埋立技術「福岡方式」に関する技術協力を 2014 年から実施しています。

昨年、同市テインビン埋立場で、メタンガスに起因する大規模な自然火災が発生したことを受け、日本国政府・ヤンゴン市と「福岡方式」の早期整備に向けた協議を重ねた結果、今回、日本国政府による国際機関を通じた無償資金協力（ODA）の資金を活用し、世界の開発途上国の居住環境の改善活動を進める「国連ハビタット福岡本部」と共同で、ヤンゴン市テインビン埋立場の「福岡方式」整備に取り組むこととなりました。

- ◆本整備により、ヤンゴン市最大の埋立場が福岡方式に生まれ変わります。
- ◆ミャンマー国内に「福岡方式」埋立場が整備されるのは初めてで、同国全土への展開に向け、ミャンマー政府から注目されている事業です。

《事業概要》ヤンゴン市ごみ埋立場（テインビン埋立場）の「福岡方式」整備事業について

- 事業期間：2019 年 4 月～（2 年間で想定）
- 総事業費：約 6 億円
- 整備対象：約 60ha（既存埋立場の改善：約 36ha，新規整備：約 24ha）
- 実施主体：国連ハビタット（事業施行、現地調整など）
福岡市（「福岡方式」導入に関する技術支援など）
※福岡の民間企業のノウハウの活用や、大学との連携を予定

《テインビン埋立場の状況》



野積み状態のごみ



大規模火災発生

《「福岡方式」とは》

- ・福岡大学と福岡市が共同開発した安全かつ持続可能なごみ埋め立て技術
- ・通気により微生物によるごみ分解を促進し、悪臭・汚水や発火の原因となるメタンガスの発生を抑制
- ・嫌気性ごみ埋立と比較し、温室効果ガスを 50%以上削減
- ・福岡方式による福岡市の埋立施設への視察見学者は世界各国から 70 カ国を超える

《他国の事例》



1.改善前の様子



2.福岡方式による整備



3.整備後の植生回復



浸出水の改善

【問い合わせ先】

（事業の実施に関すること）

福岡市環境局環境政策課 担当：鎌，松田 電話：733-5381（内線 2402）FAX：733-5592
国連ハビタット福岡本部 担当：星野，大隈 電話：724-7121 FAX：724-7124

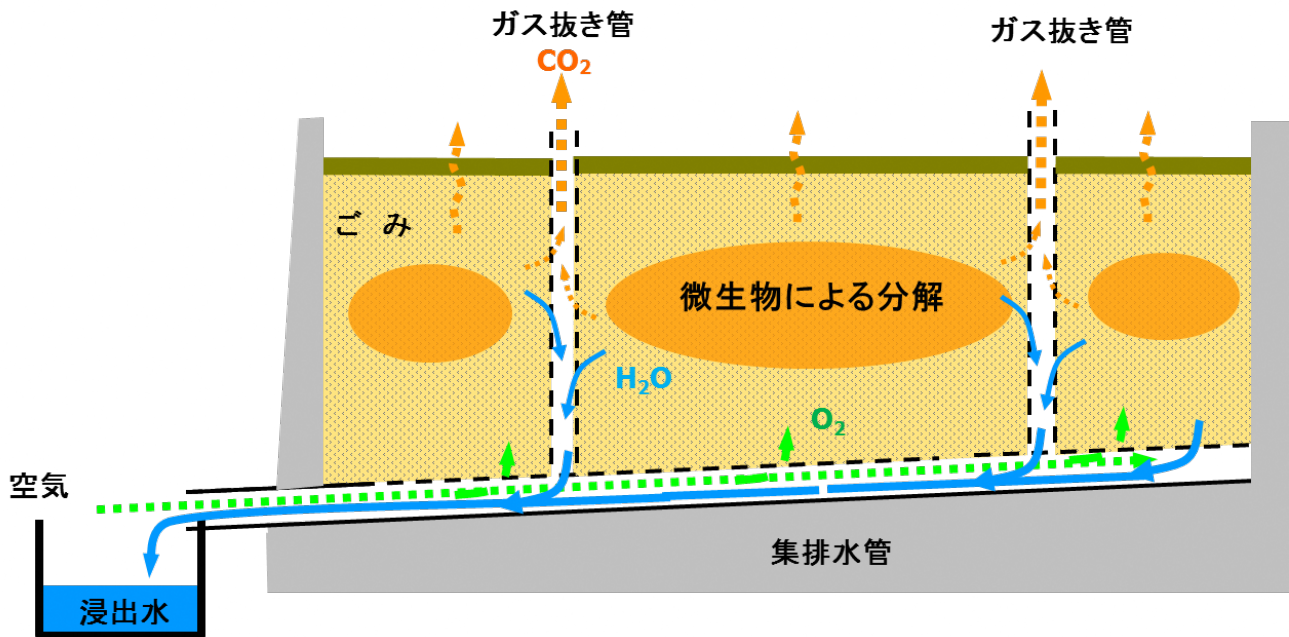
（国際貢献・協力の案件形成に関すること）

福岡市総務企画局国際協力課 担当：橋本，安室 電話：711-4051（内線 1329）FAX：733-5597

◆「福岡方式」について

<特徴>

- ①**早期安定化** →ごみの分解を促進し、跡地の早期利用が可能
- ②**ローコスト** →整備費用が比較的安価
- ③**シンプル** →構造的に単純で、複雑な設備が不要

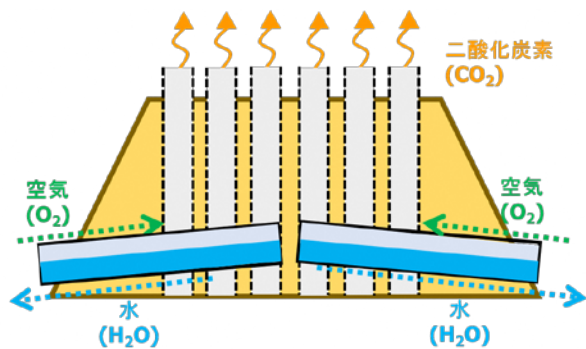


ごみの野積み(嫌気性埋立)



※メタンは二酸化炭素と比べて25倍の温室効果をもたらす

福岡方式(準好気性埋立)



(参考) これまでのヤンゴン市への技術協力の経緯

- 2014年5月 まちづくり協力・支援に関する覚書締結
- 2016年12月 姉妹都市締結
- 2018年1月 既存埋立場の整備 (福岡方式へ改良: 400m²)
- 2019年1月 新規埋立場の整備着工 (1ha)